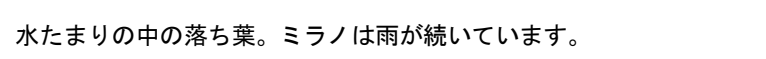
ミラノより
渥美充代ニュースレター



水たまりの中の落ち葉。ミラノは雨が続いています。

まことの礼拝

私たちキリストを信じる者の生活は、神様に礼拝をささげることから切り離すことはできません。

パウロはキリストによって神様から与えられた救いの恵みがどんなにすばらしいものか改めて説明し、そのあわれみを土台として私たちのからだを生きたささげ物として献げることを勧めます。そして、それこそが礼拝であると教えます。

「献げる」という言葉には「かたわらに置く」という意味があり、献げる相手のそば、もとに置いて、相手のものとして自由に使ってもらうという意味があります。自分が自分の人生の主人ではなく、自分は神様のものであって、神様のみこころ

あなたがたのからだを、
神に喜ばれる、聖なる生きた
ささげ物として献げなさい。
それこそ、あなたがたにふさわしい
礼拝です。
ローマ１２：１b